

組合だより

第77号

10月26日
2004年

発行所
岡山大学職員組合

〒700-8530 岡山市津島中2-1-1
電話 086-252-1111(代)
(内線)7168
直通・FAX 086-252-4148

岡山大学職員組合ホームページ <http://hb4.seikyone.jp/home/ODUnion/> メールアドレス ODUnion@mb4.seikyone.jp

新しい組合像を模索して

岡山大学職員組合の試み

岡山大学職員組合
中富 公一(委員長)
小畑 隆資(副委員長)
神原 精(副委員長)
矢田 範夫(執行委員)

はじめに

岡山大学職員組合は、大学審答申路線にくわえて大学法人化がいよいよ緊迫の度を増してきた最中の、2002年7月の定期大会で、はじめて「人権を基軸にした参加型の組合」という方向性を打ち出しました。それまで2年間ほどは、組合が大学職員や大学執行部から信頼を得られることを基本に活動を続けてきたなかで、ひとまずこれで見ようということに打ち出した方向性でした。大学との信頼関係をつくりあげることについては、この年9月に岡山大学で開催された全大教全国教職研集会の開会集会上、学長も出席して「あいさつ」をいただくことが出来ました。そこでの、学長あいさつは、「(組合と学長とは)立場は違いますが、お互いに大学をよくするためにがんばる、協力することはもちろんです。それは決して安易な妥協でないことは、お互いによく確認しています」というもので、その後の大学と組合の関係は、こうした信頼関係に立ってきています。

また、「人権」と「参加」については、この2002年度の活動方針で、「組合は、大学における人権擁護および拡充の機関として積極的に活動すると同

時に、大学の自主性・自律性を守り創出していくために、新しい大学づくりにその一翼を担って積極的に参加していく」こと、そして、そのために教職研活動強化することや、「人権部」を設置して「弁護士の協力」のもと「人権相談の窓口を開設するなどの方向で取り組む」ことが確認されています。この点についての具体化が、その後の2年間の基本課題となりました。

また、そうした方向性を積極的に、中四協教職研や全国教職研集会上にも提起し、執行委員会や学内教職研集会上でも議論を重ねてきました。そうした方向性を意識した取り組み、とりわけ、2003年度の取り組みのなかで、「参加型」については、過半数代表委員会による就業規則・労使協定づくりのとりくみとして、「人権」については、人権部の創設と無料法律相談所「ユニオン」の開設として具体化してきています。また、これらの取り組みの中から、組合についての考え方も、運動の方針を一本にまとめ組合員の先頭に立つというよりは、組合員がみずからの人権や労働条件を改善していく主体として登場し易い条件やルールを整備していく課題が重要であるとの認識も出てきています。もちろん、必要に応じて大学側との交渉の先頭に立つというのは当然ですが、「支援型」という組合の

全大教教職研集会被開かれる

岡大職組報告二本をもつて参加

反響呼んだ岡大方式

9月24、25日、神戸大学で、教職研集会被開されました。岡大職組では、2本の報告を準備して、これに参加しました。「法人制度下における労使関係」の分科会に中富委員長が岡大職組の過半数代表委員会の取り組みについて、「組織づくりと組合のあり方」の分科会に小畑副委員長「新しい組合像を模索して」と題して報告しました。参加者から、大きな反響がありました。

全大教主催の教職研集会被が、神戸大学で開催されました。集まったのは、全国から、63単組305名でした。

まず、基調報告によって、「法人制度下における新たな大学・高等教育像の創造への挑戦、労働関係の質的变化に対応しうる大学・高等教育の労働組合の組織づくりと運動の構築など」といった諸々の問題について、「(単組相互の)交流と政策的検討を深める」ことが提案された後、単組報告がなされ、引き続き活発な討論が行われました。

二日にわたる集会被の中で提出された報告は、実に17単組から28本もの多数にのぼりました。神戸大学の「就業規則・労使協定問題について」、大分大学の「大分大学におけるFD」「大分大学における意思決定過程の問題点」など、いずれも法人移行後の注目すべき取り組みでした。

東京大学の「2つの署名活動の経験と団体交渉をめぐる経緯」、東北大学の「法人制度化で労働条件改善運動をどう進めるか」、北海道大学の「北大における法人移行の取り組み」なども、活発な議論をよんだ報告でした。(次ページへ)

(前ページより)

わが岡大職組からは、7人が参加し、「過半数代表委員会と組合」(中富委員長報告)、「新しい組合像を模索して」岡山大学職員組合の試み」(小畑副委員長報告)の二本の報告をおこないました。

岡大職組は、あらためていうまでもないのですが、全国的にも数少ない連合体組織で、組合費も下から数えた方が早い弱小組合ですが(実組合員2割)、ボランティア執行委員や連合体組織の良さを生かしつつ、人権と参加をスローガンに、いろいろと工夫を重ねて来ました。その経験を、こうした形で報告したのでした。

岡大職組は、法人移行にともなって発生したさまざまの問題について、大学当局と対立するのではなく、組合として大学側に積極的に提案することで、新しい大学づくりに貢献してきました。

過半数代表委員会制度による就業規則や労使協定の締結、当該委員会による裁量労働制の検討や承認など、組合も可能な限り連携して取り組みました。

また、人権の擁護拡充を重視しの、無料法律相談所「ユニオン」の活動や、労働局幹旋びによる個別紛争処理制度の積極的利用など多様な取り組みを追求するなかで、新しい組合のあり方を模索してきました。

こうした私たちの経験を全国の仲間へ報告したところ、予想外の反響がありました。私たちの報告は、「岡大方式」という名前を頂戴しました。自分たちも「岡大方式」を参考にしたい、あるいは、もっと組合が先頭に立つべきでは等多くの意見が相次ぎました。

また、この教研集会では、私たちは組合員拡大の取り組みについて大きな宿題を与えられました。京都工芸繊維大学、山形大学、京都大学などの取り組みは、文字通り過半数組合実現を視野に収めたものでした。

岡大職組も全国に先駆けて一挙に58名を拡大した昨年4月の経験があります。いま、執行委員会では、秋の学長交渉の準備に取り組んでいます。あわせて組合員拡大にも取り組み、その態勢を検討しているところです。

座標軸

12日臨時国会開幕冒頭の首相所信表明演説に対して、あまり気迫が感じられない、総花的だなどといった感想が伝えられている。この間のイラク戦争にかかわる状況は、ある意味では激変している。一番大きいのは、イラクには大量破壊兵器は存在しなかったことが公に認められ、イラク戦争の大義名分が根拠を失ったことだ。首相の所信表明演説は、その点についていくらかでも言及しているかと思つて演説全文を子細に点検してみた。予想がなかったわけではないが、そこには一言半句の言及もない。「先月会談したアラウイ・イラク首相からも、これまでの我が国の人道復興支援活動についての謝意と、今後とも活動を続けてほしいとの意向が表明されました」というフレーズだけがある。アメリカの息のかかったイラク政府が、アメリカの忠犬のアメリカへの忠誠を感謝し希望しないはずがない。こんなことを麗々しく述べたら、なにかの説明になると首相は思っているのだろうか。イ

ラクでは、むしろ、ゲリラ的な抵抗は強まっている。小共同体的社会の束ねの部分を破壊すれば、全体の收拾がつかなくなることは、当たり前なことなのだ。が、それも知らずに束ねの部分を破壊してしまったブッシュやそれに追随する小泉の愚かさは、保守的な女流作家さえ指摘している。安保理常任理事国入りに手を挙げたのも、この間のことである。「世界の平和と安全に主要な役割を果たしていく能力を持っています」と本人はいうけれども、国際社会はそうは見えない。靖国参拝を繰り返す小泉首相を信頼しない中国は、早くも難色を示した。首相の演説は、その点にも触れていない。総じて、その施策や所信に対する実質的な重い批判や無視し得ない事実などにはあえて直面せず、都合の良いところだけを拾い集めて取り繕っている。「『やれば出来る』は魔法の合い言葉」などといった高校野球の校歌や、オリンピック選手だけの言葉で空疎な景気づけで結ばれるこの演説は、肝心なことには成だともいえるだろう。(い)

2004年度第2回執行委員会開催 学長交渉にむけ準備始まる

夏休みも終わろうとする9月28日、今年度第2回目の執行委員が開かれました。この間、およそ2か月、全国的にも岡大規模でもいろいろな動きがありました。その間の活動や情勢や報告があった後、学長交渉に向けての準備が提案され、その手だてが決まりました。

活動経過

まずこの間の活動について、荻野書記長から報告がありました。年表ふうに並べると次の通りです。

- 08 / 26 新聞第76号配布・就業規則 配布
- 08 / 26 新三役学長挨拶
- 08 / 28・29 全大教病院協議会 第1 回総会(東京) 山崎 参加
- 09 / 11・12 全大教附属学校集會(奈良教育大) 小山参加
- 09 / 18 「ユニオン」
- 09 / 24・26 全大教教研集會(神戸大) 中富・小畑・榊原・荻野・矢田・今福・吉田参加

情勢

ついで、情勢について、荻野書記長から、次のような報告がありました。これも年表ふうに並べると次の通りです。

- 09 / 03 2002年度収支で、国・私学共済が赤字(84億、189億)となる。
- 09 / 04 宮城県警、東北文化学園大の元理事長らを逮捕、助成金不正受給の疑い。
- 09 / 12 河村文科相「義務教育でも留年も」「小中9年間一体」などの発言あり。
- 09 / 14 三井住友銀、東大などとの産学提携、融資。先に知的財産提供を仲介する旨発表する。
- 09 / 15 学童保育、児童数大規模化が進み、長野では平均1施設あたり保育数が78・8人に達した。

- 09 / 19 阪大・京大、相次いで院内感染発生。「先端」ゆえのジレンマ。
- 09 / 19 同志社大シンポジウム「文系理系の壁壊せ」。
- 09 / 26 生き残り競う大学、現代的ニーズ取り組み支援86件が採択(申請は559件)される。

情報は、多方面にわたり、現代日本の教育がいままさに全面的に転換を遂げようとしていることがわかります。

岡山大学内でも09 / 23岡大附属病院から、患者の話し合い手になってくれるボランティアが募集されました。また、岡大ニュース132号には、「『大学全入時代』の入試改革」「競争的資金の確保への努力」など注目すべき動きが報じられています。

協議事項―学長交渉

協議事項として、学長交渉の準備が取り上げられました。交渉項目として、

1. 理念と改組
 2. 学長選挙
 3. ポストと身分労働条件
 4. 予算の処理の仕方
- の4点を重点項目として確認されました。
- もちろん、それ以外の職種や職場に固有の要求もあり、内容については、次回執行委員会でまとめるので各単組からは10月18日までに出してほしいということになりました。
- 協議事項の第2として、農学部職組のいもほり会が取り上げられました。協議の結果これを連合体と共催で行なうことになりました。
- その他、留学生センターの国際交流スピーチコンテストに対して、組合ニュースに案内を取り上げることになりました(4ページをご覧ください)。
- 10月執行委員会は、10月26日の予定です。

岡山大学国際交流スピーチコンテスト 私の異文化体験」

参加者12名募集中!!

岡山大学で国際交流スピーチコンテストが開かれます。留学生と日本人学生、合わせて12名がスピーチを競います。このコンテストを通じて、互いの体験を分かち合い、相互理解を進め、共通の課題に取り組んで行こうという趣旨です。ぜひ、みなさんの異文化体験をお聞かせください。多くの学生の参加を期待します。学部の先生方、これぞと思う学生に声をかけてください。

主催 岡山大学留学生センター、学生支援課
日時 2004年12月8日(水) 14:30~17:30
会場 岡山大学 創立五十周年記念館

参加資格 :岡山大学の学生
発表時間 :5分~7分
応募方法 :スピーチの「タイトル」と発表要旨(400字)
氏名、国籍、住所、所属、電話番号を記載の上、応募のこと。
応募先 :留学生センター学生支援課留学生支援担当
TEL: 251-7051 または 251-7274、 FAX: 252-5022
Email: mine@cc.okayama-u.ac.jp

応募締切 :11月19日(金)

賞 :参加賞等あり。

さんぼみち

秋風が起ち始めた。さしもの
猛威を奮った夏の暑さも、いく
らか和らいだ。すると現金なも
ので、外へ出る元気もでる。

ささやかな家庭菜園は、夏の
あいだ伸び放題だった雑草にす
っかり占領されてしまってい
る。ずっと気がかりだったが、
あの炎暑の中、草を抜く元気は
なかった。

いまようやく柔らかかな日差し
に誘われて、畑に出る。八重葎
になつてはいても、根は浅いの
で、簡単に抜けてくる。みるみ
る畑の地肌があらわれてくる。

やれやれと立ち上がると、高
い秋空を背景にトンボが飛び交
っている。

とんぼ等の遊ぶ畑で
草を抜く 千枝子

芝生の上には、楓の落ち葉が
びっしりと散り敷いている。台
風に吹き荒らされて病葉になっ
てしまったのだ。梧桐の葉も吹
き落とされて、庭の隅に吹き寄
せられて黒い塊となっている。
一気に落ち葉を掃き寄せると

髭を伸ばした芝生があらわれ
る。芝刈り機で芝を刈り、縁を
バリカンで整え、一汗ぬぐうと、
陽が落ちる頃になってやっと庭
が生き返った。

秋風が虫の音誘う
芝見酒

と玄関でおとなう人の声がす
る。出てみると、新聞の集金人。
彼も、虫の音に聞き惚れていた。

集金の人が虫の音
聞いており 千枝子

蟋蟀に耳かたむける
暮れの客 (k)

編集後記

超大型台風、そして新潟中越
大地震と、日本列島は大災害に
見舞われている感じです。被災
地の人々には心からお見舞い申
し上げます。

世界も、教育も、激動してい
ます。こんな中、慌てず騒がず、
教育に(直接間接)携わるもの、
研究に携わるものらしい、冷静
さと賢明さを失わず、なすべ
きことを着実に実行していき
たいものです。
(編集子)